

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者		連絡先 764
部 名	環境事業部	課 名	相模台収集事務所	課長名	池上 信行
事務事業名	し尿収集車両維持管理事業				
予算上の事務事業名	し尿収集車両維持管理費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		21220		
基本目標	Ⅱ「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第1章 人と自然にやさしい地域社会をつくります				
基本施策名	第2節 リサイクル型社会の構築				事業開始年度
施策名	第2施策 廃棄物の適正処理の推進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修				▼
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）</p> <p>旧相模原市域内のし尿及び浄化槽汚泥の収集・運搬に使用するバキュームカーの安全で効率的な運行を確保する。また環境面においては、アイドリングストップ運動を徹底し、有害排出ガスの削減を図る。</p> <p>(2) 対象（誰、何）</p> <p>生便槽・浄化槽・仮設トイレの使用者</p> <p>(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。</p> <p>アイドリングストップ運動を徹底することにより、燃料使用量の減少を図った。また、低公害車（LPG車）の積極的な導入・運行を図った。</p> <p>軽油使用量 15451.5L LPG使用量 19915.2L 保有台数 軽油使用車 8台 LPG使用車 5台</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況	県内各市では、し尿は直営が多いが、浄化槽は委託・許可が多い。ただ、公共下水道が整備され、収集量が減る中、民間業者が採算を取るのには困難な状況になっている。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	8,096	7,877	7,613	9,770	8,793
一般財源	7,982	7,877	7,613	9,770	8,793
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	114	0	0	0	0
人件費の合計	8,010	12,105	8,050	5,635	5,635
事業コスト合計	16,106	19,982	15,663	15,405	14,428
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	し尿収集車両維持管理事業			対象名称と単位	保有台数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	16,106	19,982	15,663	15,405	14,428
対象数	14	14	13	13	13
単位あたり経費(円)	1,150,429	1,427,286	1,204,846	1,185,000	1,109,846
前年度比		1.24	0.84	0.98	0.94

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	走行距離（km）	指標式と指標の説明	走行距離		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	133,645.0	126,322.0	119,072.0		
目標				112,072.0	105,072.0
目標達成度（%）	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	維持管理原価（円）	指標式と指標の説明	維持管理費／走行距離（km） 1km走行するために必要な車両維持管理費		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	120.5	158.1	131.5		
目標	0.0	0.0	0.0	137.4	137.3
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		し尿・浄化槽汚泥の収集業務は、公共下水道の普及により、縮小されていく事業ではあるが、市民生活には欠かせない事業である。車両の維持管理業務は円滑な収集作業の実施や安全運行のため極めて重要であり、今後も効率的な収集計画の実施を図るとともに、省エネ運行の徹底を推進していく。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
アイドリングストップ運動をより徹底し、無駄な燃料消費を減少させると共に、車両を大切に使用することで修繕費用を減少させる。			収集量の減少に伴う収集車両の適正配置が課題である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			